

**IBM® Security Access Manager for
Enterprise Single Sign-On**
バージョン 8.2

**エラー・メッセージ リファレン
ス・ガイド**



**IBM® Security Access Manager for
Enterprise Single Sign-On
バージョン 8.2**

**エラー・メッセージ リファレン
ス・ガイド**



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、55 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

注: 本書は、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On (製品番号 5724-V67) のバージョン 8.2、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典: GC14-7624-00
IBM® Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On
Version 8.2
Error Message Reference Guide

発行: 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当: トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2012.3

© Copyright IBM Corporation 2002, 2012.

目次

本書について	v
本書の対象読者	v
本書の内容	v
IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ライブラリー	v
用語へのオンライン・アクセス	viii
マニュアルへのオンライン・アクセス	viii
マニュアルのご注文	viii
アクセシビリティ	viii
Tivoli 技術研修	viii
Tivoli ユーザー・グループ	ix
サポート情報	ix
本書の規則	ix
書体の規則	ix
オペレーティング・システムに依存する変数および パス	x

第 1 章 メッセージの概要	1
メッセージについて	1
第 2 章 IMS Server 関連のメッセージ	3
第 3 章 AccessAgent 関連のメッセージ	41
RFID 関連のメッセージ	41
パスワード関連のメッセージ	41
スマート・カード関連のメッセージ	42
指紋関連のメッセージ	44
インストーラー関連のメッセージ	45
第 4 章 Observer 関連のメッセージ	49
特記事項	55

本書について

IBM® Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On では、サインオン/サインオフの自動化、認証管理、およびユーザー・トラッキングを提供することにより、強力なデジタル ID へのシームレスなパスを提供します。

「*IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On エラー・メッセージ リファレンス・ガイド*」には、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On のエラー・メッセージが記載されています。

本書の対象読者

本書は、システム管理者、ヘルプ・デスク・スタッフ、ネットワーク管理者、経験のあるユーザー、およびシステム統合担当者を対象としています。本書の読者は、ネットワーク・セキュリティ問題、認証ワークフロー、証明書、および IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On に関する実用的な知識が必要です。

本書の内容

本書には、以下のセクションが含まれます。

- 1 ページの『第 1 章 メッセージの概要』

メッセージが使用される仕組みの概要およびメッセージ表記について説明します。

- 3 ページの『第 2 章 IMS Server 関連のメッセージ』

IMS Server で表示される一部のメッセージについて説明します。

- 41 ページの『第 3 章 AccessAgent 関連のメッセージ』

AccessAgent 関連の各種メッセージについて説明します。

- 49 ページの『第 4 章 Observer 関連のメッセージ』

Observer 関連の各種メッセージについて説明します。

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ライブラリー

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ライブラリーでは、以下の資料を入手できます。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On Quick Start Guide*, CF38DML

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On をデプロイし、使用するための主なインストール・タスクおよび構成タスクについてのクイック・スタート・ガイドとして、この資料をお読みください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On 計画とデプロイメントのガイド*、SC88-5931-02

インストール・タスクおよび構成タスクを実行する前に、このガイドをお読みください。このガイドは、デプロイメントの計画と環境の準備に役立ちます。このガイドは、製品のフィーチャーやコンポーネントの概要、必要なインストールと構成、さまざまなデプロイメント・シナリオについて説明しています。また、高可用性と災害復旧を実現する方法について説明しています。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On インストール・ガイド*、GI88-4225-01

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On のインストール、アップグレード、およびアンインストールの詳細な手順については、このガイドをお読みください。

このガイドは、各種製品コンポーネントとそれぞれの必須ミドルウェアをインストールするとき、さらには製品のデプロイメントのために必要な初期構成を行うときにも役立ちます。仮想アプライアンス、WebSphere® Application Server Base エディション、および Network Deployment を使用する手順が記載されています。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On 構成ガイド*、GC88-8274-01

IMS Server の設定、AccessAgent ユーザー・インターフェース、およびその動作を構成する場合に、このガイドをお読みください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On 管理者ガイド*、SC88-5930-02

このガイドは、管理者を対象とします。さまざまな管理者タスクについて説明しています。このガイドは、ポリシー・テンプレートの作成と割り当て、ポリシーの値の編集、ログとレポートの生成、および IMS Server とそのデータベースのバックアップのための手順を記載しています。このガイドは、「IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ポリシー定義ガイド」と併せて使用してください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ヘルプ・デスク・ガイド*、SC88-5932-02

このガイドは、ヘルプ・デスク担当者を対象とします。このガイドは、通常は認証要素に関するユーザーからの照会や要求をヘルプ・デスク担当者が管理する際に役立ちます。このガイドは、「IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ポリシー定義ガイド」と併せて使用してください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On ポリシー定義ガイド*、SC88-8276-01

管理者が AccessAdmin で構成できる各種のユーザー・ポリシー、マシン・ポリシー、およびシステム・ポリシーの詳細な説明については、このガイドをお読みください。このガイドは、「IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On 管理者ガイド」と併せて使用してください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On* トラブルシューティングとサポート・ガイド、GC88-8275-01

インストール、アップグレード、および製品の使用に関して問題が発生した場合は、このガイドをお読みください。このガイドは、製品の既知の問題と制限事項について記載しています。問題の症状を確認し、回避策を見つけ出すのに役立ちます。フィックス、知識ベース、サポートに関する情報も提供します。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On AccessStudio* ガイド、SC88-5934-02

プロファイルを作成または編集する場合は、このガイドをお読みください。このガイドでは、さまざまなアプリケーション・タイプ用の標準の AccessProfile および拡張 AccessProfile の作成と編集の手順を説明しています。また、認証サービスとアプリケーション・オブジェクトの管理に関する情報、および AccessStudio のその他の機能やフィーチャーについての情報を提供します。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On* プロビジョニング・インテグレーション・ガイド、SC88-5935-02

プロビジョニングのための各種の Java API および SOAP API の情報については、このガイドをお読みください。また、このガイドでは、プロビジョニング・エージェントのインストールと構成の手順も説明しています。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On* 資格情報管理のための Web API、SA88-4639-00

このガイドは、資格情報の管理用の Web API をインストールおよび構成する場合にお読みください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On Lightweight AccessAgent mode on Terminal Server SDK Guide*、SC14-7657-00

AccessAgent を Terminal Services アプリケーションと統合する仮想チャネル・コネクタを作成する方法の詳細については、このガイドをお読みください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On Serial ID SPI Guide*、SC14-7626-00

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On は、RFID などの、シリアル番号を含むデバイスに対するサービス・プロバイダー・インターフェース (SPI) を備えています。シリアル番号を持つ任意のデバイスを統合し、そのデバイスを AccessAgent で第 2 認証要素として使用する方法を知りたい場合に、このガイドを参照してください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On Context Management Integration Guide*、SC23-9954-03

このガイドは、Context Management ソリューションをインストールおよび構成する場合にお読みください。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On* ユーザーズ・ガイド、SC88-5929-02

このガイドは、エンド・ユーザーを対象とします。このガイドでは、AccessAgent および Web Workplace を使用する手順を説明しています。

- *IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On エラー・メッセージ リファレンス・ガイド*、GA88-4640-00

このガイドでは、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On に関連するすべての通知メッセージ、警告メッセージ、エラー・メッセージについて説明しています。

用語へのオンライン・アクセス

IBM Terminology Web サイトは、IBM 製品ライブラリーの用語を 1 箇所にまとめた便利なサイトです。以下に示す Web アドレスで Terminology Web サイトにアクセスできます。

<http://www.ibm.com/software/globalization/terminology>

マニュアルへのオンライン・アクセス

以下は英語のみの対応となります。IBM は、本製品および他の Tivoli® 製品の資料が利用可能になったときおよび更新されたとき、Tivoli ソフトウェア・インフォメーション・センターの Web サイト (<http://www.ibm.com/tivoli/documentation>) に掲示しています。

注: PDF 文書をレターサイズ以外の用紙に印刷する場合は、Adobe Reader のメニューから「ファイル」>「印刷」を選択して表示されたウィンドウでオプションを設定し、レターサイズのページをご使用の用紙に印刷できるようにしてください。

マニュアルのご注文

日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは <http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「マニュアル・出版物情報」をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。この製品では、インターフェースを音声出力してナビゲートする支援技術を利用できます。また、マウスではなくキーボードを使用して、グラフィカル・ユーザー・インターフェースのすべての機能を操作することもできます。

詳しくは、「*IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On 計画とデプロイメントのガイド*」の『アクセシビリティ機能』を参照してください。

Tivoli 技術研修

以下は英語のみの対応となります。Tivoli 技術研修の情報については、IBM Tivoli 研修 Web サイト (<http://www.ibm.com/software/tivoli/education>) を参照してください。

Tivoli ユーザー・グループ

Tivoli ユーザー・グループは、Tivoli ユーザーに、Tivoli Software ソリューションの実装時に役立つ情報を提供する、独立した、ユーザーによって実行されるメンバーシップ組織です。これらのグループを介して、メンバーは情報を共有し、他の Tivoli ユーザーの知識および経験から学ぶことができます。Tivoli ユーザー・グループには、以下のメンバーおよびグループが含まれます。

- 23,000 を超えるメンバー
- 144 を超えるグループ

Tivoli Users Group に関して詳しくは、www.tivoli-ug.orgにアクセスしてください。

サポート情報

IBM ソフトウェアで問題が発生した場合、迅速な解決が望めます。IBM では、以下の方法で必要なサポートを提供しています。

オンライン

IBM ソフトウェア・サポート・サイト (<http://www.ibm.com/software/support/probsub.html> (英語のみの対応)) にアクセスし、指示に従ってください。

IBM Support Assistant

IBM Support Assistant は、無料のローカル・ソフトウェア保守ワークベンチであり、IBM ソフトウェア製品に関する質問や問題を解決するのに役立ちます。IBM Support Assistant を使用すると、サポートに関連する情報および保守容易性ツールに素早くアクセスして、問題を判別することができます。IBM Support Assistant ソフトウェアをインストールするには、<http://www.ibm.com/software/support/isa> (英語のみの対応) にアクセスしてください。

トラブルシューティング・ガイド

問題の解決について詳しくは、「*IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On* トラブルシューティングとサポート・ガイド」を参照してください。

本書の規則

本書では、特殊な用語やアクション、オペレーティング・システムに依存するコマンドやパス、およびマージン・グラフィックスに関していくつかの規則を使用しています。

書体の規則

本書では、以下の書体の規則を使用します。

太字

- 周囲のテキストとの区別が難しい小文字コマンドおよび大/小文字混合コマンド
- インターフェース・コントロール (チェック・ボックス、プッシュボタン、ラジオ・ボタン、スピン・ボタン、フィールド、フォルダー、アイコン、リスト・ボックス、リスト・ボックス内の項目、複数列のリスト、コ

ンテナー、メニュー選択、メニュー名、タブ、プロパティ・シート)、ラベル (「ヒント:」、および「オペレーティング・システムの考慮事項:」など)

- 本文中のキーワードおよびパラメーター

イタリック

- 引用 (例: 資料、ディスクット、および CD のタイトル)
- テキスト内で定義される単語 (例: 非交換回線は *Point-to-Point* 回線 と呼ばれる)
- 単語や文字の強調 (単語どおりの単語の例: 「制限節を導くには、単語 *that* を使用します。」文字どおりの文字の例: 「LUN アドレスは先頭に文字 *L* が必要です。」)
- 本文中の新規の用語 (定義リスト内の用語は除く): ビュー とは、ワークスペース内のフレームであり、データが含まれます。
- 指定する必要がある変数および値: ... ここで、*myname* は ... を表します。

モノスペース

- 例およびサンプル・コード
- ファイル名、プログラミング・キーワード、および周囲のテキストとの区別が困難なその他の要素
- ユーザーに対して表示されるメッセージ・テキストおよびプロンプト
- ユーザーが入力する必要があるテキスト
- 引数またはコマンド・オプションの値

オペレーティング・システムに依存する変数およびパス

この資料では、環境変数の指定、およびディレクトリー表記に UNIX 規則が使用されます。

Windows コマンド行を使用する場合、環境変数の *\$variable* を *% variable%* に置き換え、ディレクトリー・パスのスラッシュ (*/*) を円記号 (*¥*) に置き換えてください。環境変数の名前は、Windows と UNIX 環境で常に同じというわけではありません。例えば、Windows 環境での *%TEMP%* は、UNIX 環境では *\$TMPDIR* になります。

注: Windows システムで *bash* シェルを使用している場合、UNIX の規則を使用することができます。

第 1 章 メッセージの概要

メッセージは、システムの操作中に発生するイベントを示します。

メッセージはその目的に応じて、画面に表示されることがあります。デフォルトでは、通知メッセージ、警告メッセージ、およびエラー・メッセージはすべて、メッセージ・ログに書き込まれます。このログを後で検討して、発生したイベントの判別、実行された修正アクションの確認、および実行されたすべてのアクションの監査を行うことができます。メッセージ・ログについて詳しくは、「*IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On* トラブルシューティングとサポート・ガイド」を参照してください。

メッセージについて

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On がログに記録するメッセージには、Tivoli Message Standard に基づいたメッセージと非標準メッセージの両方が含まれます。各標準メッセージは、メッセージ ID と、それに付随するメッセージ・テキストで構成されています。非標準メッセージにはメッセージ ID はありません。しかし、エラー・メッセージは説明的であり、その多くにはユーザーのアクションに関する情報が含まれています。

標準メッセージの ID 形式

メッセージ ID は、メッセージを一意的に識別する 10 文字の英数字で構成されています。

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On のメッセージ ID は次のように構成されています。

- 3 文字の製品 ID
- 2 文字または 3 文字のコンポーネント ID またはサブシステム ID
- 3 桁または 4 桁の通し番号またはメッセージ番号
- 1 文字のタイプ・コード (メッセージの重大度を示します)

例:

エラー・コード CTGAM0102E は次の情報で構成されます。

- CTG -Tivoli コンポーネント
- AM - Access Manager サブコンポーネント
- 0102 - メッセージ番号
- E - エラー

重大度

各標準メッセージには、重大度レベルが関連付けられています。これは、修正アクションを実行する必要があるかどうかを示します。

注: IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On アプリケーションで表示されるすべての標準メッセージの重大度は、「エラー」カテゴリに属します。

重大度および説明

E (エラー)

処理を続行する前に介入または修正する必要がある問題が発生したことを示します。エラー・メッセージには、問題に関する追加の詳細が記載された警告メッセージまたは通知メッセージが 1 つ以上付随する場合があります。

CTGAM0102E ISAM ESS0 サーバーがエンタープライズ・ディレクトリーに接続できないため、資格情報を検証できません。

説明:

このエラーは、ISAM ESS0 Server とエンタープライズ・ディレクトリーの間の接続がない場合に発生する可能性があります。

メッセージ・テキスト

メッセージ・テキストは、システム・ロケールでログ・ファイルに記録されます。ローカル言語のメッセージ・テキストがない場合は、メッセージ・テキストは英語言語でログ・ファイルに保管されます。

非標準メッセージの形式

非標準メッセージには ID はありません。

IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On のそれぞれの非標準メッセージは、以下の質問への答えとなる詳細で構成されます。

- 発生したイベント
- エラー・メッセージが表示された原因およびエラー・メッセージをトリガーした原因
- エラーを解決する方法

第 2 章 IMS Server 関連のメッセージ

これらのメッセージは、IMS Server 関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

CTGAM0002E 値は指定された範囲内でなければなりません。

説明: このエラーは、許容される値の範囲外の値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 指定された範囲内の値を指定してください。

CTGAM0003E データ・タイプが正しくありません。

説明: 入力値のデータ・タイプが正しくありません。

ユーザーの処置: 確認して、適切なデータ・タイプを使用して値を入力してください。

CTGAM0004E 値は整数である必要があります。

説明: このエラーは、整数以外の値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 整数値を指定してください。

CTGAM0005E 値は正整数でなければなりません。

説明: このエラーは、正整数ではない値を入力した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 正整数を入力してください。

CTGAM0006E 認証サービスの更新中にエラーが発生します。

説明: このエラーは、認証サービスを更新しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0007E 新規認証サービスの追加中にエラーが発生します。

説明: このエラーは、認証サービスを追加しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 新規認証サービスがすべての必須基準に従っていることを確認してください。

CTGAM0008E この ID を持つ認証サービスは存在しています。

説明: このエラーは、ID を作成しようとしたときに表示されます。この新規 ID は存在しています。

ユーザーの処置: 新規 ID を使用して認証サービスを作成してください。

CTGAM0009E 値にはスペースを使用できません。

説明: このエラーは、ID を作成しようとしたときに、新規 ID 名にスペース文字が含まれている場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規 ID のスペース文字を削除してください。

CTGAM0010E 値をディスクに書き込むときにエラーが発生しました。

説明: このエラーは、値をディスクに書き込むときに表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0011E パスワードの入力が一致しません。

説明: このエラーは、2 つの異なるパスワードを入力したときに表示されます。

ユーザーの処置: 両方のテキスト・ボックスに同じパスワードを入力してください。

CTGAM0012E 一部の構成ファイルの更新中にエラーが発生します。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0013E 接続エラーのため構成を検証できません。

説明: このエラーは、構成を検証しようとしたときに、システムが構成を検証できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ネットワーク接続を確認してください。ご使用のブラウザがオフライン・モードで動作す

CTGAM0014E

るように設定されていないか確認してください。

CTGAM0014E 指定された名前を持つ構成グループはすでに存在しています。

説明: このエラーは、すでに存在する構成グループ名を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規の構成グループ名を入力してください。

CTGAM0015E 指定された名前を持つ構成グループはすでに存在しています。

説明: このエラーは、すでに存在する構成グループ名を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規の構成グループ名を入力してください。

CTGAM0016E ポリシー値が無効です。

説明: このエラーは、無効なポリシー値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効なポリシー値を入力してください。ポリシーについて詳しくは、「*IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign On 構成ガイド*」を参照してください。

CTGAM0017E 値が無効であるか、値の更新中にエラーが発生しました。

説明: このエラーは、無効な値を指定した場合、または値の更新中にエラーが発生した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な値を入力してください。

CTGAM0018E この値を持つユーザーはすでに存在しています。

説明: このエラーは、既存のユーザーに対して同じ値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規ユーザーに新規値を入力してください。

CTGAM0019E 日付が無効です。

説明: このエラーは、誤った形式で日付を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 受け入れられる標準形式で日付を入力してください。

CTGAM0020E 検索の開始日は終了日より前の日付でなければなりません。

説明: このエラーは、「検索範囲 (終了)」日付より後の「検索範囲 (開始)」日付を指定した場合に表示されません。

ユーザーの処置: 「検索範囲 (終了)」日付より前の「検索範囲 (開始)」日付を入力してください。

CTGAM0021E この名前の検索はすでに存在しています。

説明: このエラーは、既存の検索名と同じ検索名を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 検索に新規名を入力してください。

CTGAM0022E 指定された名前を持つポリシー・テンプレートはすでに存在しています。

説明: このエラーは、既存のポリシー・テンプレート名と同じポリシー・テンプレート名を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: ポリシー・テンプレートに新規値を入力してください。

CTGAM0023E 名前に使用できる文字は、アルファベット、数字、スペース、下線 (_), およびダッシュ (-) のみです。

説明: このエラーは、エラー・メッセージに示されている特殊文字以外の特殊文字を指定した場合に表示されません。

ユーザーの処置: 許可される文字のみが含まれた新規名を入力してください。

CTGAM0024E 名前に使用できる文字は、アルファベット、数字、スペース、コンマ、下線 (_), およびダッシュ (-) のみです。

説明: このエラーは、エラー・メッセージに示されている特殊文字以外の特殊文字を指定した場合に表示されません。

ユーザーの処置: 許可される文字のみが含まれた新規名を入力してください。

CTGAM0025E 値は空にできません。

説明: このエラーは、値を指定しなかった場合に表示されます。

ユーザーの処置: 値を入力してください。

CTGAM0026E 指定値は有効な整数ではありません。

説明: このエラーは、有効な整数ではない値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な整数として新規値を入力してください。

CTGAM0027E 指定値は有効な長整数ではありません。

説明: このエラーは、有効な長整数ではない値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な長整数として新規値を入力してください。

CTGAM0028E 指定値は有効な短整数ではありません。

説明: このエラーは、有効な短整数ではない値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な短整数として新規値を入力してください。

CTGAM0029E 指定値は有効な数値ではありません。

説明: このエラーは、有効な数値ではない値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な数値として新規値を入力してください。

CTGAM0030E 指定値は有効な浮動小数点数ではありません。

説明: このエラーは、有効な浮動小数点数ではない値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な浮動小数点数として新規値を入力してください。

CTGAM0031E 指定値は有効な倍精度浮動小数点数ではありません。

説明: このエラーは、有効な倍精度浮動小数点数ではない値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な倍精度浮動小数点数として新規値を入力してください。

CTGAM0032E 指定値 (VALUE_0) は無効です。

説明: このエラーは、無効な値を指定した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な新規値を入力してください。

CTGAM0033E 要求を処理中にエラーが発生しました。

説明: このエラーは、要求の処理中に表示されます。このエラーにはいくつかの原因が考えられます。

ユーザーの処置: 「IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On トラブルシューティングとサポート・ガイド」を参照してください。

CTGAM0034E 検索基準に一致する結果が見つかりませんでした。

説明: このエラーは、検索基準に一致する結果がない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規検索基準を入力してください。

CTGAM0035E 許可される結果の最大数を超過しました。検索基準を絞り込んでください。

説明: このエラーは、許可される結果の数を結果の数が超過した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 検索基準を絞り込んでください。

CTGAM0036E 検索の実行中に問題が発生しました。検索属性の構成を確認して、再試行してください。

説明: このエラーは、検索の実行時に問題が発生した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 検索属性の構成を確認して、再試行してください。

CTGAM0037E 認証サービスが 1 つも選択されていません。

説明: このエラーは、認証サービスが選択されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 認証サービスを選択してください。

CTGAM0039E アプリケーション・バインディング: (VALUE_0,VALUE_1) はユーザーに属しているため、ユーザー・アプリケーション・バインディングを追加できません。

説明: このエラーは、アプリケーションがユーザー・アプリケーション・バインディングを追加できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0040E ユーザー・アプリケーション・バインディングを追加できません: (VALUE_0、VALUE_1)

説明: このエラーは、アプリケーションがユーザー・アプリケーション・バインディングを追加できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0041E 値 VALUE_0 はすでにユーザーに割り当てられています。

説明: このエラーは、バインディング値が他のユーザーにすでに割り当てられている場合に表示されます。

ユーザーの処置: バインディング値を変更して、再試行してください。

CTGAM0042E 属性 VALUE_0 を、値 VALUE_1 で更新中にエラーが発生しました。エラー・メッセージ: VALUE_2

説明: このエラーは、バインディング値が他のユーザーにすでに割り当てられている場合に表示されます。

ユーザーの処置: バインディング値を変更して、再試行してください。

CTGAM0043E 属性の更新中にエラーが発生します。エラー・メッセージ: VALUE_0

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0044E この許可コードは既に使用されています。新規許可コードを作成してください。

説明: このエラーは、指定した許可コードが既に使用されている場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規許可コードを作成してください。

CTGAM0046E ソフトウェア・キーがロックされています。ソフトウェア・キーをアンロックし、やり直してください。

説明: さまざまな原因により、ソフトウェア・キーがロックされている可能性があります。

ユーザーの処置: AccessAdmin からユーザー Wallet をアンロックしてください。

CTGAM0047E 合言葉の質問が見つかりません。

説明: このエラーは、IMS Server が合言葉の質問を見つけない場合に表示されます。

ユーザーの処置: システム管理者に問い合わせてください。

CTGAM0033E 要求を処理中にエラーが発生しました。

説明: このエラーは、要求の処理中に表示されます。このエラーにはいくつかの原因が考えられます。

ユーザーの処置: 「IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On トラブルシューティングとサポート・ガイド」を参照してください。

CTGAM0049E OTP トークンをリセットできません。連続した VALUE_0 個の OTP を入力してから、再試行してください。

説明: このエラーは、OTP トークンをリセットできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 連続した OTP の最後の番号 を入力してください。

CTGAM0050E OTP トークンをリセットできません。再試行してください。

説明: これは、OTP トークンをリセットできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: OTP トークンを再入力してください。

CTGAM0051E 不正な試行回数を超過したため、Wallet がロックされました。

説明: このエラーは、Wallet へのログオン試行で許可される失敗数を超過した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0052E ログインの失敗が多すぎたため、ユーザーはセルフサービス登録および第 2 要素のバイパスを実行できません。

説明: このエラーは、ログオン試行が、許可される試行数を超過した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 連続した OTP の最後の番号 を入力してください。

CTGAM0053E ポリシー値が無効です。このポリシーを再ロードしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このポリシーを再ロードしてください。

CTGAM0054E 検索照会が、構成された制限を超えました。検索基準を絞り込んでください。

説明: このエラーは、検索照会が、構成された制限を超えた場合に表示されます。この制限は管理者によって設定されています。

ユーザーの処置: 検索基準を絞り込んでください。

CTGAM0055E 属性の検索構成が正しくありません

説明: このエラーは、属性の検索構成が正しくない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳しくは、ログを参照してください。詳細については、IMS Server SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0056E 基準に一致するユーザーが見つかりません。

説明: このエラーは、基準に一致するユーザーがいない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 条件に一致するユーザーを見つけるための新規検索基準を入力してください。

CTGAM0057E アプリケーション・バインディングの追加用に、ActiveCode 対応認証サービスを構成してください。

説明: このエラーは、アプリケーション・バインディングの追加用に ActiveCode 対応認証サービスが構成されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ActiveCode 対応認証サービスを構成してください。

CTGAM0058E エンタープライズ・ディレクトリーの更新中にエラーが発生しました。構成が間違っている可能性があります。

説明: このエラーは、誤った構成を使用してエンタープライズ・ディレクトリーを更新しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: エンタープライズ・ディレクトリーの更新を試行する前に、構成を修正してください。

CTGAM0060E NetBIOS ドメイン名の取得中にエラーが発生しました。企業ネットワーク内の Active Directory の構成が誤っていることが原因である可能性があります。このドメインでは、NetBIOS ドメイン名を使用したログインはサポートされていません。

説明: このエラーは、Active Directory の構成が誤っている場合に表示されます。

ユーザーの処置: NetBIOS ドメイン名を使用するログインを更新してください。.

CTGAM0062E 生成された認証サービスの削除中にエラーが発生しました。

説明: このエラーは、生成された認証サービスを削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 生成された認証サービスを削除する前に、認証サービスを停止してください。

CTGAM0064E 構成キーの保存中にエラーが発生しました。

説明: このエラーは、構成キーを保存しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0065E 現在の構成を削除中にエラーが発生しました。

説明: このエラーは、構成を削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0066E フォレスト構成の削除中にエラーが発生します。

説明: このエラーは、フォレスト構成を削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0071E このエンタープライズ・ディレクトリー ID はすでに存在しています。

説明: このエラーは、すでに存在するエンタープライズ・ディレクトリー ID を使用して、エンタープライズ・ディレクトリーを作成しようとした場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規のエンタープライズ・ディレクトリー ID を使用してください。

CTGAM0072E ActiveDirectory サーバー名またはドメイン名が空です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ActiveDirectory サーバー名またはドメイン名を指定してください。

CTGAM0073E IMS Server の再ロードを試行中にエラーが発生しました。IMS Server ログで詳細を確認してください。

説明: このエラーは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0074E IMS Server の始動を試行中にエラーが発生しました。IMS Server ログで詳細を確認してください。

説明: このエラーは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0075E IMS Server の停止を試行中にエラーが発生しました。IMS Server ログで詳細を確認してください。

説明: このエラーは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0076E ユーザーのプロビジョン中にエラーが発生します。IMS Server ログで詳細を確認してください。

説明: このエラーは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を確認してください。

CTGAM0077E ユーザー名またはパスワードが間違っています。

説明: このエラーは、間違ったユーザー名またはパスワードを入力した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 正しいユーザー名またはパスワードを指定してください。

CTGAM0078E Active Directory の構成中にエラーが発生します。IMS Server ログで詳細を確認してください。

説明: このエラーは、Active Directory の構成時に、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0079E 初期管理者のプロビジョン中にエラーが発生します。IMS Server ログで詳細を確認してください。

説明: このエラーは、初期管理者のプロビジョン試行時に、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0080E このドメインを解決できません。

説明: このドメイン名を解決できません。

ユーザーの処置: ドメイン名を再度指定するか、IMS Server ログで詳細を確認してください。

CTGAM0080E このドメインを解決できません。

説明: このドメイン名を解決できません。

ユーザーの処置: ドメイン名を再度指定するか、IMS Server ログで詳細を確認してください。

CTGAM0082E このユーザーはすでに登録されています。別の名前を指定してください。

説明: このエラーは、新規ユーザーを登録しようとしたときに表示されます。このユーザー名は存在しています。

ユーザーの処置: 新規ユーザー名を指定してください。

CTGAM0085E ユーザーの登録状況を確認できません。

説明: このエラーは、ユーザーの登録状況を確認できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 再試行するか、IMS Server ログで詳細を確認するように管理者に依頼してください。

CTGAM0087E ユーザー資格情報を検証するためにエンタープライズ・ディレクトリーを取り出すときに問題が発生します。再試行してください。

説明: このエラーは、IMS Server がユーザー資格情報を取り出せない場合に表示されます。

ユーザーの処置: しばらくしてから再試行してください。

CTGAM0088E ユーザー名とパスワードが正しくないか、ユーザーに十分な特権がありません。

説明: このエラーは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ユーザー特権を確認するか、正しいユーザー名とパスワードを入力してください。

**CTGAM0089E 検索の実行中に問題が発生しました。
検索属性の構成を確認して、再試行してください。**

説明: このエラーは、アプリケーションで検索を実行できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 検索属性の構成を確認して、再試行してください。

CTGAM0090E 検索基準に一致する結果が見つかりませんでした。

説明: このエラーは、検索で結果が生成されなかった場合に表示されます。

ユーザーの処置: 別の検索基準を指定してください。

CTGAM0091E ユーザー・ポリシー・テンプレートは、選択したすべてのユーザーには適用できません。 再試行してください。

説明: このエラーは、検索で結果が生成されなかった場合に表示されます。

ユーザーの処置: 別の検索基準を指定してください。

CTGAM0092E ユーザーが 1 人も選択されていません。 ユーザーを選択して、やり直してください。

説明: このエラーは、ユーザーを 1 人も選択せずに操作を実行しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ユーザーを選択して、やり直してください。

CTGAM0093E ユーザー・ポリシー・テンプレートが選択されていません。 テンプレートを選択して、やり直してください。

説明: このエラーは、ポリシー・テンプレートを選択せ

ずにポリシー・テンプレートに対する操作を実行しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ユーザー・ポリシー・テンプレートを選択して、やり直してください。

CTGAM0094E ユーザー・ポリシーが 1 つも選択されていません。 ユーザー・ポリシーを選択して、やり直してください。

説明: このエラーは、ユーザー・ポリシーを選択せずに、ユーザー・ポリシーに対する操作を実行しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: ユーザー・ポリシーを選択して、やり直してください。

CTGAM0095E ポリシーをユーザーに割り当てるときにエラーが発生しました。

説明: このエラーは、ポリシーをユーザーに割り当てることができない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0096E マシン・ポリシー・テンプレートが 1 つも選択されませんでした。

説明: このエラーは、マシン・ポリシー・テンプレートを選択せずに操作を実行しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: マシン・ポリシー・テンプレートを選択して、やり直してください。

CTGAM0097E 選択したマシンの詳細を取り出すときに問題が発生します。

説明: このエラーは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0098E このテンプレート名はすでに存在しています。

説明: このエラーは、すでに存在するテンプレート名を作成しようとした場合に表示されます。

ユーザーの処置: 新規テンプレート名を指定してください。

CTGAM0099E マシン・ポリシー・テンプレートが選択されていませんでした。マシン・ポリシー・テンプレートを選択して、やり直してください。

説明: このエラーは、マシン・ポリシー・テンプレートを選択せずにマシン・ポリシー・テンプレートに対する操作を実行しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: マシン・ポリシー・テンプレートを選択して、やり直してください。

CTGAM0095E ポリシーをユーザーに割り当てるときにエラーが発生しました。

説明: このエラーは、ポリシーをユーザーに割り当てることができない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0101E マシンが 1 つも選択されませんでした。マシンを選択して、やり直してください。

説明: このエラーは、マシンを選択せずにマシンに対する操作を実行しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: マシンを選択して、やり直してください。

CTGAM0102E マシンを削除できません。IMS Server ログで詳細を参照してください。

説明: このエラーは、マシンを削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0103E マシン・ポリシー・テンプレートを作成できません。詳しくは、ログを参照してください。

説明: このエラーは、マシン・ポリシー・テンプレートを削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0104E マシン・ポリシー・テンプレートを更新できません。詳しくは、ログを参照してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0105E マシン・ポリシー・テンプレートを削除できません。詳しくは、ログを参照してください。

説明: このエラーは、マシン・ポリシー・テンプレートを削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 詳しくは、ログを参照してください。

CTGAM0106E ログの署名機能が使用可能になっていません。IMS 構成ユーティリティを参照してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS 構成ユーティリティを参照してください。

CTGAM0107E IMS Server 構成ファイル (IMS.xml) が指定されたパスにありません。

説明: このエラーは、IMS.xml ファイルが <WAS_Profile>/config/tamesso/config ディレクトリで見つからない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS.xml ファイルが <WAS_Profile>/config/tamesso/config ディレクトリ内に存在するかどうか確認してください。

CTGAM0108E AccessAssistant/WebWorkPlace 構成ファイル (accessAnywhere.properties) が指定されたパスにありません。

説明: このエラーは、accessAnywhere.properties ファイルが指定されたパスで見つからない場合に表示されます。

ユーザーの処置: <file> を確認し、accessAnywhere.properties ファイルの正しい場所を指定するか、accessAnywhere.properties を正しい場所にコピーしてください。

CTGAM0111E マスター・パスワードが間違っています。

説明: このエラーは、指定したマスター・パスワードが間違っている場合に表示されます。

ユーザーの処置: 正しいマスター・パスワードを指定してください。

CTGAM0112E 検証エラー

説明: 指定した情報は検証中に有効ではありませんでした。

ユーザーの処置: 有効な入力データを指定してください。

CTGAM0113E 新規エンタープライズ・ディレクトリを作成できません: VALUE_0

説明: このエラーは、新規エンタープライズ・ディレクトリを作成しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 表示された参照番号を使用して、エンタープライズ・ディレクトリの資料を参照してください。

CTGAM0114E 新規エンタープライズ・ディレクトリを作成できません。

説明: このエラーは、新規エンタープライズ・ディレクトリを作成しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: エンタープライズ・ディレクトリの資料を参照し、問題を解決してください。

CTGAM0118E 次のコネクタ情報を更新できません: VALUE_0: VALUE_1

説明: このエラーは、コネクタ情報を更新できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0119E 次の認証サービスを作成できません: VALUE_0: VALUE_1

説明: このエラーは、認証サービスを作成できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0120E エンタープライズ・ディレクトリを更新できません: VALUE_0: VALUE_1

説明: このエラーは、Active Directory ドメインを削除しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0121E アプリケーション・デプロイメント・タイプを設定できません: VALUE_0

説明: このエラーは、アプリケーション・デプロイメント・タイプを設定できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0122E DNS ドメイン用の NetBIOS ドメインを取得できません: VALUE_0. エラー・メッセージ: VALUE_1

説明: このエラーは、DNS ドメイン < domain name > 用の NetBIOS ドメインを取得できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAM0125E 認証サービスを選択してください。

説明: このエラーは、認証サービスを選択するようにユーザーにプロンプトを出すために表示されます。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAM0126E ユーザー名を入力してください。

説明: このエラーは、ユーザー名を入力し忘れた場合に表示されます。

ユーザーの処置: ユーザー名を入力してください。

CTGAM0130E 初期管理者をプロビジョンできません:

説明: このエラーは、初期管理者をプロビジョンできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0131E 送信された許可要求コードが無効です。確認して再送信してください。

説明: このエラーは、許可要求コードが無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 許可要求コードを確認し、再送信してください。

CTGAM0132E 送信された期間の値が無効です。確認して再送信してください。

説明: このエラーは、送信された期間が無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 期間を確認し、再送信してください。

CTGAM0133E 不正な入力パラメーターのため、操作は失敗しました。パラメーターを確認し、再試行してください。

説明: このエラーは、送信された許可要求コードが無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 許可要求コードを確認し、再送信してください。

CTGAM0134E 無効なデータ入力のため、許可コードを生成できません。

説明: このエラーは、送信された許可要求コードが無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 許可要求コードを確認し、再送信してください。

CTGAM0135E セッションがタイムアウトになったため、操作は失敗しました。再試行してください。

説明: このエラーは、接続に時間がかかり過ぎているか、接続タイムアウト設定が低すぎる場合に表示されます。

ユーザーの処置: 再試行するか、接続タイムアウト設定を増やしてください。

CTGAM0136E 有効な E メール・アドレスを入力してください。

説明: 無効な E メール・アドレスが送信されました。

ユーザーの処置: 有効なメール・アドレスを入力してください。

CTGAM0137E 使用可能な、割り当てられていないトークンがありません

説明: このエラーは、すべてのトークンが割り当てられており、使用可能な新規トークンがない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0138E JDBC プロバイダー名は既に存在します

説明: 作成しようとしている JDBC プロバイダー名は既に存在しています。

ユーザーの処置: 別の名前で新規 JDBC 接続を作成してください。

CTGAM0139E データ・ソース名は既に存在します

説明: 作成しようとしているデータ・ソース名は既に存在しています。

ユーザーの処置: 別の名前で新規データ・ソースを作成してください。

CTGAM0140E JNDI 名は既に存在します

説明: 作成しようとしている JNDI 名は既に存在しています。

ユーザーの処置: 別の名前で新規 JNDI 接続を作成してください。

CTGAM0141E AAS - J2C 認証データ別名は既に存在します

説明: 作成しようとしている AAS - J2C 認証データ別名は既に存在しています。

ユーザーの処置: 別の名前で AAS - J2C 認証データ別名ソースを作成してください。

CTGAM0142E 指定のルート CA にアクセスできません

説明: 作成しようとしている AAS - J2C 認証データ別名は既に存在しています。

ユーザーの処置: 別の名前で AAS - J2C 認証データ別名ソースを作成してください。

CTGAM0143E HTTP および HTTPS ポート番号の値が必要です

説明: HTTP および HTTPS ポート番号の値が指定されていません。

ユーザーの処置: HTTP および HTTPS ポート番号の値を指定してください。

CTGAM0144E 指定の HTTP および HTTPS ポートを参照できません

説明: 指定された HTTP および HTTPS ポート番号を検査できません。

ユーザーの処置: HTTP および HTTPS ポート番号の値を確認してください。これらのポートが既に別のアプリケーションに割り当てられていないか確認してください。

CTGAM0145E 指定した HTTP および HTTPS ポートは既に存在します

説明: 指定された HTTP および HTTPS ポート番号は既に存在します。

ユーザーの処置: HTTP および HTTPS ポート番号に新規値を指定してください。

CTGAM0146E ポート番号が無効です

説明: 指定された HTTP および HTTPS ポート番号は無効です。

ユーザーの処置: HTTP および HTTPS ポート番号に有効な値を指定してください。

CTGAM0147E HTTP と HTTPS のポート番号は同じであってはなりません

説明: HTTP と HTTPS ポートに同じ番号を指定することはできません。

ユーザーの処置: HTTP と HTTPS ポートに別個の値を指定してください。

CTGAM0148E 指定されたポート番号は WAS 上に存在しません

説明: WebSphere Application Server 上に存在しない HTTP および HTTPS ポート番号が指定されました。

ユーザーの処置: 指定された HTTP および HTTPS ポート番号は WebSphere Application Server 上に存在しません。

CTGAM0149E WAS データ・ソースの作成中にエラーが発生しました。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0150E データベースおよびユーザーの作成中にエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0151E 新規データベース・ユーザーの生成中にエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0152E 構成ファイルのコピー中にエラーが発生しました。

説明: 原因の一部として、ファイルの権限が不十分であること、および低ディスク・スペースがあります。

ユーザーの処置: 詳細については、IMS Server SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0153E 接続に失敗しました。 接続設定を検証できません。 再試行してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 再試行するか、管理者に連絡してください。

CTGAM0154E データベースは既に存在しています。 指定のデータベースは既に存在します。 存在しない新規データベース名を指定してください。

説明: 指定した名前は存在するため、データベースは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 新規データベース名を指定してください。

CTGAM0155E データベース名の項目を指定してください。

説明: このエラー・メッセージは、データベース名を指定しなかった場合に表示されます。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAM0156E データベース・ホスト名の項目を指定してください。

説明: このメッセージは、データベース・ホスト名の値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベース・ホスト名の値を指定してください。

CTGAM0157E データベース・インスタンスの項目を指定してください。

説明: このメッセージは、データベース・インスタンスの値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベース・インスタンスの値を指定してください。

CTGAM0158E データベース・ポートの項目を指定してください。

説明: このメッセージは、データベース・ポートの値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベース・ポートの値を指定してください。

CTGAM0159E 管理者パスワードの項目を指定してください。

説明: このメッセージは、管理者パスワードの値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者パスワードの値を指定してください。

CTGAM0160E 管理者ユーザー名の項目を指定してください。

説明: このメッセージは、管理者ユーザー名の値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者ユーザー名の値を指定してください。

CTGAM0161E データベースの照合に誤りがあります。データベースでは、大/小文字の区別がある照合 (SQL_Latin1_General_CP1_CS_AS など) を使用する必要があります。

説明: このメッセージは、データベースの照合が正しくない場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベースの照合が正しいことを確認してください。

CTGAM0162E 特権が不十分です。このユーザー名には、データベースを作成するための特権がありません。データベース管理者のユーザー名とパスワードを指定してください。

説明: このメッセージは、データベースを作成するための十分な特権がない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡して必要な特権を依頼

し、データベースを作成してください。

CTGAM0163E データベース名に無効な文字 '!' が含まれています。

説明: このメッセージは、データベース・インスタンスの値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベース・インスタンスの値を指定してください。

CTGAM0164E ユーザー名とパスワードを検証できません。データベース・サーバーへのログインに失敗しました。有効なデータベース・ホスト名、管理者ユーザー名およびパスワードを指定してください。

説明: このメッセージは、ユーザー名とパスワードを検証できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効なデータベース・ホスト名、管理者ユーザー名、およびパスワードを指定してください。

CTGAM0165E データベース・ホスト名は、データベースの IP アドレスではなく実際のホスト名にする必要があります。

説明: このメッセージは、実際のホスト名の値ではなく、データベースの IP アドレスが指定されている場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベースの IP アドレスではなく実際のホスト名を指定してください。

CTGAM0166E データベース・ポート番号は、整数でなければなりません。

説明: このメッセージは、データベース・ポート番号に指定された値が整数ではない場合に表示されます。

ユーザーの処置: データベース・ポート番号には整数値を指定してください。

CTGAM0167E IMS Server の鍵ストアは既に存在していますが、いくつかの証明書が欠落しています。

説明: このメッセージは、IMS Server の構成時に表示されます。これは、IMS Server の鍵ストアは使用可能だが、証明書が欠落している場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0168E IMS Server の鍵ストアにアクセス中にエラーが発生しました。

説明: このメッセージは、IMS Server の鍵ストアにアクセスできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0169E IMS Server の鍵ストアのセットアップに失敗しました。

説明: このメッセージは、IMS Server が鍵ストアをセットアップできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0170E WAS へのポートの追加に失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0171E IMS Server のランタイム URL を設定できませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server がランタイム URL を設定できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0172E IMS Server Soft CA をアップロードできませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server のソフト認証局をアップロードできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0176E 少なくとも 1 つの DN を定義する必要があります

説明: このメッセージは、DN 値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つのユーザー DN 値を指定してください。

CTGAM0177E システム・データのアップロード中にエラーが発生しました。

説明: このメッセージは、システム・データのアップロード中にエラーが発生した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0178E システム・データは、XML フォーマットでなければなりません。

説明: このメッセージは、システム・データが XML 以外のフォーマットで指定されている場合に表示されます。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAM0179E アップグレード中にエラーが発生しました。 ログでエラーの詳細を確認してください。

説明: このメッセージは、IMS Server のアップグレード中に、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0200E 以前のインストールは無効です。

説明: このメッセージは、以前のインストールが無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server が、有効な以前のインストール・フォルダーを指していることを確認してください。

CTGAM0201E 構成中にエラーが発生しました。 ログでエラーの詳細を確認してください。

説明: このメッセージは、IMS Server の構成中に不明なエラーが発生した場合に表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0202E ドメイン名は空にできません。

説明: このメッセージは、ドメイン名の値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ドメイン名の値を指定してください。

CTGAM0203E ユーザー名は空にできません。

説明: このメッセージは、ユーザー名の値が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ユーザー名を指定してください。

CTGAM0204E フィールドをブランクのままにしないでください。 値を入力してください。

説明: このメッセージは、一部のフィールドが空の場合に表示されます。

ユーザーの処置: 値を指定してください。

CTGAM0205E 結果が多すぎて表示することができません。 検索結果を絞るために、特定の検索条件を指定してください。

説明: このメッセージは、検索条件によって表示される結果が、許可される値の数を超過している場合に表示されます。

ユーザーの処置: 検索を絞るために、特定の検索条件を入力してください。

CTGAM0206E 入力ファイルが無効です。

説明: このメッセージは、指定された入力ファイルが無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な入力ファイルを指定してください。

CTGAM0207E IMS データ・ソース JNDI キーが `ims.xml` に欠落しています。

説明: このメッセージは、IMS データ・ソース JNDI キーが `ims.xml` ファイルで欠落している場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS データ・ソース JNDI キーを `ims.xml` ファイルに指定してください。

CTGAM0208E IMS データ・ソース JNDI キーが `WAS` に存在しません。

説明: このメッセージは、IMS データ・ソース JNDI キーが WebSphere Application Server に存在しない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server が正常に構成されていること、および IMS データ・ソース JNDI キーが作成されていることを確認してください。

CTGAM0209E IMS 構成ファイルのエクスポートに失敗しました。

説明: このメッセージは、IMS Server が IMS Server 構成ファイルをエクスポートできない場合に表示されます。例えば、ディスク・スペースが十分でない可能性があります。

ユーザーの処置: 例外の詳細については、

`SystemOut.log` ファイルを参照してください。

CTGAM0210E IMS データ・ソースのクリーンアップに失敗しました。

説明: このメッセージは、IMS Server がデータ・ソースをクリーンアップできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳細については、`SystemOut.log` ファイルを参照してください。

CTGAM0211E IMS 構成ファイルのインポートに失敗しました。

説明: このメッセージは、IMS Server が IMS Server 構成ファイルをインポートできない場合に表示されます。原因として、ディスク・スペース不足またはディスク特権の不足が考えられます。

ユーザーの処置: 詳細については、`SystemOut.log` ファイルを参照してください。

CTGAM0212E `ims.properties` の保存に失敗しました。

説明: このメッセージは、IMS Server が `ims.properties` ファイルを保存できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0213E エクスポートされた鍵ストアで SSL 証明書参照できません

説明: このメッセージは、IMS Server が、エクスポートされた鍵ストアで SSL 証明書を参照できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳細については、`SystemOut.log` ファイルを参照してください。

CTGAM0214E エクスポートされた鍵ストアで SSL 証明書を見つけられません

説明: このメッセージは、IMS Server が、エクスポートされた鍵ストアで SSL 証明書を見つけることができない場合に表示されます。

ユーザーの処置: オリジナル IMS Server からエクスポートして、ターゲット IMS Server に再度インポートできます。

CTGAM0215E 既存の IMS 鍵ストアを削除できません

説明: このメッセージは、IMS Server が既存の IMS 鍵ストアを削除できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳細については、SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0216E IHS 鍵ストアの有効範囲を取得できません。

説明: このメッセージは、IMS Server が IBM HTTP Server 鍵ストアの有効範囲を取得できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳細については、SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0217E SSL 証明書をエクスポートできませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server が SSL 証明書をエクスポートできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0218E IMS 証明書をエクスポートできませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server が IMS 証明書のエクスポートに失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0219E アーカイブに鍵ストアを保管できませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server がアーカイブへの鍵ストアの保管に失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0220E ルート CA をエクスポートできません

説明: このメッセージは、IMS Server がルート認証局をエクスポートできない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0221E SSL 証明書をインポートできませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server が SSL 証明書のインポートに失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0222E IMS 証明書をインポートできませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server が IMS Server 証明書のインポートに失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0223E ルート CA をインポートできませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server がルート CA のインポートに失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0224E クライアントの鍵ストアまたはトラストストアを更新できません

説明: このメッセージは、IMS Server がクライアントの鍵ストアまたはトラストストアを更新できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0225E 鍵ストア・エクスポート操作を初期化できませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server が鍵ストア・エクスポート操作を初期化できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0226E 鍵ストア・インポート操作を初期化できませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server が鍵ストア・インポート操作を初期化できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0227E リポジトリを作成できませんでした:

説明: このメッセージは、IMS Server がリポジトリの作成に失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳細については、SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0228E リポジトリを更新できませんでした

説明: このメッセージは、IMS Server がリポジトリの更新に失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 詳細については、SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0229E リポジトリは既に存在します

説明: このメッセージは、IMS Server がリポジトリ構成を作成しようとしたが、リポジトリが存在する場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS 構成ユーティリティを使用して、構成済みのエンタープライズ・ディレクトリー・リポジトリのリストを確認してください。類似のリポジトリが存在する場合は、そのリポジトリ構成を削除してください。WebSphere Application Server 管理コンソールで、他に類似のリポジトリがないか確認することもできます。類似の詳細を持つ他のリポジトリが存在する場合は、そのリポジトリ構成を削除してください。

CTGAM0230E バインド・ユーザー名またはパスワードが無効です

説明: このメッセージは、IMS Server が無効なユーザー名とパスワードをバインドしようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー名またはパスワードをバインド用に指定してください。

CTGAM0231E 指定されたホストを識別できません

説明: このメッセージは、IMS Server が、指定されたホストを識別できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ホスト名の識別が DNS またはホスト・ファイルによって正しくセットアップされていることを確認してください。

CTGAM0232E 接続が拒否されたか、ホストまたはポートが無効です

説明: このメッセージは、誤ったホスト名またはポート

名が原因で、IMS Server 接続が失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: ホストまたはポートの有効な情報を指定してください。

CTGAM0233E 基本項目が他のリポジトリに既に存在します

説明: このメッセージは、IMS Server が、他のリポジトリに存在する基本項目を作成しようとしたときに表示されます。

ユーザーの処置: 基本識別名が他の構成済みリポジトリで既に使用されていないかどうか確認してください。

CTGAM0234E 属性名はサポートされていません

説明: このメッセージは、IMS Server でサポートされない属性名が使用されている場合に表示されます。

ユーザーの処置: サポートされる属性名を指定してください。

CTGAM0235E 不明なエラー。詳細についてはログを参照してください

説明: このメッセージは、エラーの原因が不明な場合に表示されます。

ユーザーの処置: エラーの詳細を判別するには、ログ・ファイルを参照してください。

CTGAM0236E 入力された値は有効な LDAP 名ではありません

説明: このメッセージは、入力された LDAP 名が無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効な LDAP 名を指定してください。

CTGAM0237E 指定されたホストに接続できません

説明: このメッセージは、IMS Server が、指定されたホストに接続できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ホスト名の識別が正しくセットアップされていることを確認してください。ホストとの間の接続をテストしてください。ファイアウォールが正しく構成されていること、およびファイアウォールでブロックされている接続がないことも確認してください。

CTGAM0238E 少なくとも 1 つのユーザー属性名を指定する必要があります

説明: このメッセージは、ユーザー属性が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの属性名を指定してください。

CTGAM0239E 少なくとも 1 つの基本ユーザー識別名を指定する必要があります

説明: このメッセージは、IMS Server の基本ユーザー識別名が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの基本ユーザー識別名を指定してください。

CTGAM0240E バインド識別名から基本識別名を構成できません。編集する拡張ビューに進んでください

説明: このメッセージは、IMS Server が、指定されたホストに接続できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 拡張ビューで基本識別名を編集してください。

CTGAM0241E エンタープライズ・ディレクトリー項目をデータベースに書き込めません

説明: このメッセージは、IMS Server がエンタープライズ・ディレクトリー項目をデータベースに書き込むことができない場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで、データベース接続が使用可能かどうか確認してください。

CTGAM0242E 有効なドメイン名ではありません

説明: このメッセージは、指定されたドメイン名が無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: 有効なドメイン名を指定してください。

CTGAM0243E ユーザーは存在しますが、検証に失敗しました。パスワードが間違っている、パスワードの期限が切れている、あるいはユーザーが無効にされている可能性があります

説明: このメッセージは、既存のユーザーのユーザー資格情報に誤りがある場合に表示されます。

ユーザーの処置: ユーザーが無効にされていないかどうか、またはパスワードの有効期限が切れていないかどうか

を確認してください。正しいパスワードを入力したかどうかを確認してください。

CTGAM0244E ユーザーが存在しません

説明: このメッセージは、指定されたユーザーが存在しない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0245E 複数のユーザーが見つかりました

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0246E コード・フォーマットが無効です

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なコード・フォーマット名を指定してください。

CTGAM0247E 更新用のローカル・データ・ソースを作成できませんでした。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 詳細については、SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0248E エンタープライズ・ディレクトリーの db 項目のクリーンアップ・エラー

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0249E IMS 構成ファイルのアップロード中にエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 詳細については、SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM0250E クライアントの鍵ストア/トラストストアが無効です。

説明: このメッセージは、鍵ストアまたはトラストストアへの無効なパスが指定された場合に表示されます。

ユーザーの処置: クライアントの鍵ストアまたはトラストストアへの有効なパスを指定してください。

CTGAM0251E エンタープライズのディレクトリーをインポートできませんでした。

説明: このメッセージは、IMS Server がエンタープライズ・ディレクトリーのインポートに失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0252E エンタープライズのディレクトリーをエクスポートできませんでした。

説明: このメッセージは、IMS Server がエンタープライズ・ディレクトリーのエクスポートに失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0253E 指定された IHS SSL 鍵にアクセスできません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM0254E IMS データベースをアップグレードできませんでした。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0255E データベース情報をバックアップできません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0256E 鍵ストア情報をバックアップできません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0257E ノードの同期が取れません。ノード・エージェントが稼働しているかどうか検査してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ノード・エージェントが稼働しているかどうか確認してください。

CTGAM0258E ユーザー名は " " を含むことができません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ユーザー名から引用符 (") を削除してください。

CTGAM0259E ユーザー名は数値で開始できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 先頭が数値ではない別のユーザー名を指定してください。

CTGAM0260E インストール・ディレクトリーが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なインストール・ディレクトリーを指定してください。

CTGAM0261E IHS 情報の削除中にエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0262E IHS 情報の追加中にエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

CTGAM0263E 指定された IMS 構成 JAR ファイルは無効であるか、または壊れています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0264E 指定されたデータベースはすべての ISAM ESSO データベース要件を満たすものではありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0265E 基本識別名エントリーが無効です。拡張ビューに進み、これを修正してください。

説明: このメッセージは、誤った基本識別名エントリーが指定された場合に表示されます。

ユーザーの処置: 拡張ビューで基本識別名エントリを編集してください。

CTGAM0266E データベース・サーバーに到達できません。

説明: このメッセージは、データベース・サーバーに到達できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0267E エンタープライズ・ディレクトリー・サーバーに到達できません。

説明: このメッセージは、エンタープライズ・ディレクトリー・サーバーに到達できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM0268E IBM HTTP サーバーが見つかりません。Web サーバーを構成してから再試行してください。

説明: このメッセージは、IMS Server が IBM HTTP Server を検出できない場合に表示されます。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAM0269E サーバーによって「TIM AD アダプター」への接続が拒否されました。ホストまたはポート情報が無効です。

説明: このメッセージは、ホストまたはポートの無効な情報が原因で、TIM AD アダプターへの IMS Server 接続が失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: ホストまたはポートの有効な情報を指定してください。

CTGAM0270E TIM AD アダプターに対する単純認証に失敗しました。ユーザー名またはパスワードが正しくありません。

説明: このメッセージは、誤ったユーザー名またはパスワードが原因で、TIM AD アダプターに対する単純認証が失敗した場合に表示されます。

ユーザーの処置: 正しいユーザー名およびパスワードを指定してください。

CTGAM0271E ドメイン名と NetBIOS 名を指定しません。

説明: このメッセージは、ドメイン名と NetBIOS Name 名が指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: ドメイン名と NetBIOS 名を指定してください。

CTGAM5003E 保留 SOCI は更新可能です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAM5004E 予期しない致命的エラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5005E 予期しない警告が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5006E サーバーで一時的な障害が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5007E 初期化されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5008E 構成の不具合が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5009E メール・システム・エラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5010E セッションが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5011E セッションが無効です。IP アドレスが変更されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5012E セッションが無効です。非アクティブ・タイムアウト。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5013E セッションが無効です。強制タイムアウト。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5014E アクセスは拒否されました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5015E 属性名が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 属性名の有効な値を指定してください。

CTGAM5016E ログインが無効です。ログイン ID またはパスワードが間違っています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なログイン ID およびパスワードを指定してください。

CTGAM5017E ログインが無効です。IMS 証明書が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5018E ログインが無効です。証明書が見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5019E ログインが無効です。認証コードが間違っています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しい認証コードを指定してください。IMS Server ログで詳細を確認してください。

CTGAM5020E ログインが無効です。クライアントの IP アドレスが欠落しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: クライアントの IP アドレスの正しい値を指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5021E ログインが無効です。アクセス・コードが間違っています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しいアクセス・コードを指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5023E パスコード・ログインが正しくありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しいパスコード・ログインを指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5024E 証明書は更新できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5025E ユーザーは取り消されました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5026E ログインが正しくありません。アカウントが使用不可に設定されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5027E ユーザーは使用不可に設定されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5028E ユーザーは登録されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5029E ユーザーは登録されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5030E ユーザー役割が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5031E パスコードの同期化が使用可能になっていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: パスコードの同期化を使用可能に設定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5032E SOCI ID が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な SOCI ID を指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5034E パスコードが間違っています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しいパスコードを指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5035E SOCI タイプが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な SOCI タイプを指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5036E 重複は MN ポリシーで許可されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 重複する値を削除してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5040E アプリケーション・ユーザー名はすでにバインドされています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5041E SOCI はすでに登録されています。証明書が見つかりました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5042E SOCI はすでに登録されています。証明書が見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5043E SOCI タイプはすでに登録されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5044E アプリケーション・バインディングは使用不可に設定されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5045E アプリケーション・バインディングの状況が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5046E セッション・プロパティが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なセッション・プロパティを指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5047E セッションが無効です。不明なエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5048E サービスはサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5049E 入力パラメーターが間違っています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な入力パラメーターを指定してください。IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5050E データが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5051E レコードは削除されません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5056E 契約が不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5057E 契約が指定されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5058E 契約のバージョンがサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5059E ユーザー・データ・フォーマットが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5060E CSK をインタープリットできません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5061E CSK 暗号化解除エラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5062E CSK が見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5063E アクセス権限が十分ではありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5064E 証明書を正常に発行できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5065E IMS Server と AccessAgent の間のバイオメトリクス共有秘密鍵が初期化されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5066E バイオメトリクス認証プロバイダーが構成されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5067E 予期しないエラーが発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5068E バイオメトリクス・テンプレート・データが破損しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5069E バイオメトリクス・データ項目が正しくありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5070E バイオメトリクス認証名が破損しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5071E バイオメトリクス・ログインが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5072E バイオメトリクス共有鍵が欠落しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5073E バイオメトリクス署名はすでに登録されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5074E 指紋ログインは無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5075E データ・ストア例外が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5076E データ・ストア項目が破損しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5077E SQL 照会が正しくありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5078E RDB 例外が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5079E 複写キーが見つかりました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5080E 値が大きすぎます。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5081E 項目が見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5082E 外部キーの競合が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5084E **ActiveCode** が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5085E パスワードが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを設定してください。

CTGAM5086E クライアント・コンピューターの IP アドレスが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューターの有効な IP アドレスを指定してください。

CTGAM5087E Server to server 認証は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5088E ユーザー名が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なユーザー名を指定してください。

CTGAM5089E キー索引が境界外です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5090E ユーザー名が固有ではありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 固有のユーザー名を指定してください。

CTGAM5091E **ActiveCode** の初期化は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5092E **ActiveCode** の初期化は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5093E セキュア・チャネルが必要ですが、使用できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5094E **ActiveCode** が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な **ActiveCode** を指定してください。

CTGAM5095E ユーザー名が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なユーザー名を指定してください。

CTGAM5096E **ActiveCode** データ暗号化解除は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5097E ActiveCode データ暗号化は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5098E ActiveCode アカウントがロックされています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5099E ActiveCode アカウントがいつロックされたかを判別できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5100E データベース・エラー。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5101E Mobile ActiveCode 設定が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な Mobile ActiveCode 設定を指定してください。

CTGAM5102E Mobile ActiveCode の有効期限が切れました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5103E アプリケーション・パスワードが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なアプリケーション・パスワードを指定してください。

CTGAM5104E Mobile ActiveCode 要求方式が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な Mobile ActiveCode 要求方式を使用してください。

CTGAM5105E ネットワーク・アクセス・サーバー ID が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なネットワーク・アクセス・サーバー ID を指定してください。

CTGAM5106E ActiveCode の文字セットが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5107E ActiveCode アルゴリズムはサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: サポートされる ActiveCode アルゴリズムを使用してください。

CTGAM5108E ActiveCode は、認証サービスに対しては有効ではありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください

CTGAM5109E ActiveCode が使用不可に設定されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

CTGAM5110E ユーザーの合言葉は無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5111E ActiveCode のバイパスは失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

CTGAM5112E

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5112E ActiveCode の構文解析中のエラー。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5115E LDAP 例外が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5116E コネクターが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5117E コネクターへのアクセスは拒否されました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5118E コネクターは外部アプリケーションへの接続に失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5119E プロビジョン解除はサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5120E プロビジョン解除アクションはサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5121E プロビジョン解除の状況が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5122E 検索回数制限を超えました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5123E ポリシー・データが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5124E ポリシー・データが破損しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5125E ポリシーが定義されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5126E ポリシー値が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5127E ポリシー値ストレージ・タイプが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なポリシー値ストレージ・タイプを設定してください。

CTGAM5128E ポリシー定義が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5129E ポリシーが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5130E ポリシー・テンプレートが定義されていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ポリシー・テンプレートを定義してください。

CTGAM5131E ポリシー・テンプレートが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なポリシー・テンプレートを使用してください。

CTGAM5132E デフォルト・ポリシー・テンプレートが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5133E ポリシー・テンプレート割り当てが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5134E ポリシー解決照会が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なポリシー解決照会を使用してください。

CTGAM5136E ポリシー定義が不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5137E バックアップ・キーのアクティベーション要求コードが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5138E バックアップの合言葉が複数見つかりました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5139E Mobile ActiveCode メッセージが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な Mobile ActiveCode メッセージを指定してください。

CTGAM5140E メッセージ・コネクタが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なメッセージ・コネクタを使用してください。

CTGAM5141E メッセージ・コネクタ使用不可。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5142E メッセージ・コネクタは失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5143E メッセージ・コネクタ構成が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なメッセージ・コネクタ構成を指定してください。

CTGAM5144E E メールまたは電話番号が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な E メールまたは電話番号を指定してください。

CTGAM5145E メタデータ構文解析の例外が発生しました。

説明: メッセージを参照してください。

CTGAM5146E

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5146E メタデータが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5147E メタデータ・スナップショットを取得できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5148E メタデータ・キーが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5149E メタデータ・セクションが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5150E メタデータ・グループが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5151E メタデータ・グループにキーがありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5152E メタデータ・キーの値が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5153E メタデータ属性が見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5154E syslog へのログインに失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5155E ログ・ファイルが改ざんされています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5156E ログ・ファイルが改ざんされた可能性があります。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5157E 鍵ストアが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な鍵ストアを指定してください。

CTGAM5158E 暗号は失敗しました。

説明: このエラーは、サポートされないエンコードが原因で表示されます。

ユーザーの処置: SystemOut.log ファイルを参照してください。

CTGAM5159E 暗号化は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5160E 暗号化解除は失敗しました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5161E リセット対称鍵が欠落しています。

説明: このエラーは、システムのリセット鍵が `ims.xml` ファイルで指定されていない場合に表示されます。

ユーザーの処置: `SystemOut.log` ファイルを参照してください。

CTGAM5162E SOCI は取り消されません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: `SystemOut.log` ファイルを参照してください。

CTGAM5163E 認証サービスが不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5164E アカウント・データ・テンプレートが不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5165E アカウント・データ項目テンプレートが不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5166E 認証サービスはすでに定義されています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5167E 認証サービスが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な認証サービスを指定してください。

CTGAM5168E アカウント・データ・テンプレートが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なアカウント・データ・テンプレートを指定してください。

CTGAM5169E アカウント・データ項目テンプレートが無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効なアカウント・データ項目テンプレートを入力してください。

CTGAM5170E アカウント・データ・テンプレートが一致しません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5171E 認証メカニズムが不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5172E 認証メカニズムはサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5173E データ・ストレージ・テンプレートが不明です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5174E プロビジョニング証明書はすでに存在しています。

説明: このエラーは、登録ユーザーのプロビジョニング証明書が存在している場合に表示されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

CTGAM5175E Wallet ID はすでに存在しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5176E アカウントはすでに存在しています。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5177E アカウントが見つかりません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5178E ユーザー名が無効です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAM5179E 資格情報の入力時に失敗した試行回数が多すぎます。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAN0001E ユーザー名を入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0002E 入力されたユーザー名は IMS Server にすでに登録されています。別のユーザー名を入力するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: IMS Server にすでに登録されているユーザー名が入力されました。

ユーザーの処置: 別のユーザー名を指定するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0003E ID 確認のために入力された情報は拒否されました。再試行する前に、Caps Lock キーの状況を参照してください。必ず大/小文字が正しく入力されるようにしてください。

説明: ID 確認のために入力された情報が無効でした。

ユーザーの処置: 大/小文字を正しく指定してください。

CTGAN0004E 質問を選択してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0005E 必須の質問に答えてください。

説明: 必須の質問に答えていません。

ユーザーの処置: フォームを確認し、必須の質問に答えてください。

CTGAN0006E すべての質問に答えてください。

説明: すべての質問に答えていません。

ユーザーの処置: すべての質問に答えてください。

CTGAN0007E 同じ質問を 2 度選択しないでください。

説明: 同じ質問を 2 度選択しました。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0008E 選択した質問の答えを入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0009E ISAM ESSO パスワードを入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0010E 入力した新規パスワードが一致していません。両方のフィールドに同じパスワードを入力してください。

説明: 2 つの異なるパスワードを入力しました。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0011E パスワード・ポリシー要件をすべて満たす新規パスワードを入力してください。

説明: 指定されたパスワードは、パスワード・ポリシー要件を満たしていません。

ユーザーの処置: 新規パスワードを指定してください。

CTGAN0012E ポリシー要件をすべて満たす新しい答えを入力してください。

説明: 指定された現在の答えは、ポリシー要件を満たしていません。

ユーザーの処置: ポリシー要件を読み、ポリシー要件を満たす新しい答えを指定してください。

CTGAN0013E 入力されたユーザー名は IMS Server に登録されていません。別のユーザー名を入力するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: ユーザー名は IMS Server に登録されていません。

ユーザーの処置: 別のユーザー名を指定するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0014E ユーザー・アカウントは無効になっているか、取り消されています。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されることがあります。

ユーザーの処置: 管理者またはヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0015E ユーザーの許可コードを入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ユーザーの許可コードを指定してください。許可コードは管理者から取得できます。

CTGAN0017E 合言葉が正しくありません。正しい答えを入力してください。正しい答えを入力できない場合は、別の質問を選択して、正しい答えを入力してください。

説明: このメッセージは、質問に誤った答えが入力された場合に表示されます。

ユーザーの処置: 別の質問を選択して、正しい答えを入力してください。

CTGAN0018E いくつかの答えが正しくありません。それぞれの質問に正しい答えを入力してください。

説明: 一部の質問に正しい答えが入力されていません。

ユーザーの処置: 必ずすべての質問に正しい答えを入力してください。

CTGAN0019E 合言葉を使用して ISAM ESSO パスワードをリセットすることはできません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On パスワードをリセットするには、許可コードが必要です。

CTGAN0020E パスワードを変更できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0021E *VALUE_0* はログオン用パスワードを取得できませんでした。再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: IMS Server が、特定のログオン用のパスワードを取得できません。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡して、ログオン用パスワードを取得してください。

CTGAN0022E *AccessAgent* は現在、ユーザーが指定したアプリケーションに接続できません。再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: *AccessAgent* は、ユーザーが指定したアプリケーションに接続できません。

ユーザーの処置: 再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0023E *VALUE_0* は、アプリケーション上でユーザー名とパスワードを入力できませんでした。再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: *AccessAgent* は、ユーザーの資格情報をアプリケーションに挿入できません。

ユーザーの処置: 再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0024E パスワードを変更できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: パスワードを変更しようとしたが、失敗しました。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0025E *VALUE_0* は、ユーザー名とパスワードを保管できませんでした。 ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0026E *VALUE_0* を使用する権限がありません。このサービスを使用可能にするには、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡して、このサービスを使用可能にしてください。

CTGAN0027E ISAM ESSO にサインアップしていか、間違ったパスワードを入力しました。今すぐサインアップするか、再度ログインしてください。 ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On にサインアップまたはログインできない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0028E サインアップ時に入力したリカバリー・コードを入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0029E 最大ログイン試行許可回数を越えたため、ユーザー・アカウントがロックされました。 ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: 最大ログイン試行許可回数を越えたため、ユーザー・アカウントがロックされました。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡して、アカウントのアンロックを依頼してください。

CTGAN0030E 現在、Mobile ActiveCode をユーザー・アカウントで使用できません。(エラー・メッセージ: *VALUE_0*)。 ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: ワンタイム・パスワードをユーザー・アカウントで使用できません。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0031E 入力した OTP は、設定が正しくないので検証できません。(エラー・メッセージ: *VALUE_0*)。 ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 設定を確認するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0032E 入力した OTP は無効です。再試行してください。

説明: 入力された OTP は、有効期限が切れているか、無効です。

ユーザーの処置: OTP を再入力してください。

CTGAN0034E IMS Server で認証サービスを作成できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。(エラー・メッセージ: *error number*)

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡して、IMS Server で認証サービスを作成してください。

CTGAN0035E IMS Server で認証サービスを作成できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0036E IMS Server でアプリケーションを作成できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。(エラー・メッセージ: *VALUE_0*)

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0037E IMS Server でアプリケーションを作成できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0038E IMS Server で AccessProfile を作成できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0039E メッセージング・コネクタが構成されていません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0040E パスワードの有効期限が切れました。新規パスワードを入力して、Windows と ISAM ESSO のパスワードを変更してください。

説明: パスワードの有効期限が切れました。

ユーザーの処置: 新規パスワードを指定して、Windows と ISAM ESSO のパスワードを置換してください。

CTGAN0041E ISAM ESSO パスワードが、入力したパスワードと一致しません。これは、合言葉を入力した後に更新されます。

説明: ISAM ESSO Wallet に保管されているパスワードが、入力されたパスワードと異なります。

ユーザーの処置: 合言葉の質問に正しい答えを入力して、ISAM ESSO Wallet を更新してください。

CTGAN0042E ユーザー名とパスワードが一致しません。再試行してください。

説明: ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。

ユーザーの処置: ユーザー名とパスワードを再入力してください。

CTGAN0043E パスワード入力の失敗が多すぎたため、ユーザー・アカウントはロックされています。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: パスワード入力を複数回失敗したため、アカウントがロックされています。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0044E このユーザー名でログオンする権利は取り消されました。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このユーザー名を使用してログオンすることはできません。特権が取り消されています。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0045E 入力した許可コードは無効です。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: 入力された許可コードは無効です。

ユーザーの処置: 有効な許可コードを入力してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0046E アカウントのアンロックは使用不可に設定されています。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: ユーザー・アカウントをアンロックするための最大試行回数を超過しました。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0048E エンタープライズ・アカウントは、一時的な問題により、アンロックできません。ただし、ISAM ESSO Wallet は正常にアンロックされました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0049E アカウントのアンロックに失敗しました。合言葉が入力されていることを確認してください。

説明: アカウントをアンロックしようとしたますが、失敗しました。

ユーザーの処置: 合言葉を入力して、アカウントをアンロックしてください。

CTGAN0050E Wallet は、一時的な問題により、最新の Windows パスワードで更新できません。VALUE_0 または VALUE_1 への次回ログオン時に、自動的に更新されます。

説明: 更新された Windows パスワードは、次回ログオン時に Wallet に組み込まれます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

CTGAN0051E ユーザー名フィールドは空にできません。

説明: ユーザー名フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: ユーザー名フィールドの値を指定してください。

CTGAN0052E パスワード・フィールドは空にできません。

説明: パスワード・フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: パスワード・フィールドの値を指定してください。

CTGAN0053E パスワードの入力が一致しません。

説明: パスワード・フィールドに指定されたパスワードとパスワードの確認フィールドに指定されたパスワードが一致しません。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを指定してください。

CTGAN0054E 表示名は空にできません。有効な表示名を入力してください。

説明: 表示名フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: 有効な表示名を指定してください。

CTGAN0055E ページに直接アクセスできません。

説明: ユーザーがページに直接アクセスしようとしてしました。このページは、アプリケーションからのみアクセスできます。

ユーザーの処置: アプリケーションにログオンし、アプリケーションからページにアクセスしてください。

CTGAN0056E リカバリー・コードを指定する必要があります。

説明: 合言葉の質問に答えてください。

ユーザーの処置: 合言葉の質問に答えて、登録を行ってください。

CTGAN0057E ご使用のブラウザーでは、このパスワード表示方法はサポートされていません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAN0058E 編集するアプリケーション・パスワードがありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0059E パスワードの編集が必要なアプリケーションを選択してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0060E 一度に編集できるアプリケーション・パスワードは 1 つだけです。アプリケーションを選択してください。

説明: パスワードの編集は、アプリケーションを選択した後でのみ可能です。

ユーザーの処置: 編集が必要なアプリケーションのパスワードを選択してください。

CTGAN0061E 削除するアプリケーション・ユーザー名がありません。

説明: アプリケーション・ユーザー名を削除しようとしてしました。しかし、削除するユーザー名がありません。

ユーザーの処置: IMS Server ログで詳細を参照してください。

CTGAN0063E 入力した `VALUE_0` は無効です。再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: 既に無効である値が指定されました。

ユーザーの処置: 再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0064E 入力した `VALUE_0/VALUE_1` は無効です。再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: 既に無効である値が指定されました。

ユーザーの処置: 再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0065E 入力した *VALUE_0* は無効になっています。再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: 既に無効である値が指定されました。

ユーザーの処置: 値の入力を再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0066E 入力した *VALUE_0/VALUE_1* は無効になっています。再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: 既に無効である値が指定されました。

ユーザーの処置: 値を再度指定するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0067E 一時的な問題により、パスワードをリセットできません。ただし、*VALUE_0* と、入力したばかりの新規パスワードを使用してログオンできます。*VALUE_1* は、次回ログオン時に自動的にパスワードのリセットを完了します。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0068E 一時的な問題により、パスワードをリセットできません。しばらくしてから再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: しばらくしてから再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0069E 入力した許可コードは無効です。再試行してください。

説明: 入力された許可コードは無効です。

ユーザーの処置: 許可コードの入力を再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡して新しい許可コードを依頼してください。

CTGAN0071E SSO サイトを追加できません:
VALUE_0

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0072E 有効なログオン・ページ URL を入力してください。

説明: 指定されたログオン・ページ URL は無効です。

ユーザーの処置: 有効なログオン・ページ URL を指定してください。

CTGAN0073E 入力した合言葉は無効です。再試行してください。

説明: 入力された合言葉は無効です。

ユーザーの処置: 有効な合言葉を入力してください。合言葉の設定について詳しくは、「*IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-on ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

CTGAN0074E ユーザーの合言葉を検証中にエラーが発生しました。

説明: ユーザーの合言葉を検証するときにエラーが発生しました。このエラーは、いくつかの原因により生成されます。

ユーザーの処置: ユーザーの合言葉を再度指定してください。

CTGAN0075E 認証サービス ID は空にできません。有効な ID を入力してください。

説明: 認証サービス ID フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: 有効な認証サービス ID を指定してください。

CTGAN0076E アプリケーション ID は空にできません。有効な ID を入力してください。

説明: アプリケーション ID フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: 有効なアプリケーション ID を指定してください。

CTGAN0077E ユーザーの現在の E メール・アドレスを取得中にエラーが発生しました。

説明: このエラー・メッセージは、入力された E メール・アドレスの形式が無効な場合に表示されます。

ユーザーの処置: E メール・アドレスを再度指定してください。

CTGAN0078E ユーザーの現在の携帯電話番号を取得中にエラーが発生しました。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: 携帯電話番号を再度指定してください。

CTGAN0079E 自動ログオン用のデフォルト・ユーザー名を設定できません。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: 自動ログオン用のデフォルトとして、他のユーザー名を設定してください。

CTGAN0080E 自動ログオン用のデフォルト・ユーザー名を削除できません。

説明: 自動ログオン用のデフォルト・ユーザー名を削除しようとした。自動ログオン用のデフォルト・ユーザー名を削除できません。

ユーザーの処置: このユーザー名を削除する前に、他のユーザー名をデフォルト・ユーザー名として設定してください。

CTGAN0081E アプリケーション・ユーザー名の削除に失敗しました。再試行してください。

説明: アプリケーション・ユーザー名を削除できません。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照するか、アプリケーション・ユーザー名の削除を再試行してください。

CTGAN0082E 自動ログオン用のユーザー名の更新に失敗しました。再試行してください。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照するか、自動ログオン用のユーザー名の更新を再試行してください。

CTGAN0083E IMS Server で AccessProfile を更新できません。エラー・メッセージ: <error number>

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

CTGAN0084E 入力した <value> は無効です。再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージは、入力された値が無効であることを示しています。

ユーザーの処置: 有効な値を入力してください。ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0085E ISAM ESSO パスワードは空にできません。

説明: ISAM ESSO パスワード・フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: ISAM ESSO パスワードを指定します。

CTGAN0091E 合言葉は空にできません。

説明: 合言葉フィールドには値が必要です。このフィールドは空にできません。

ユーザーの処置: 合言葉フィールドの値を指定してください。

CTGAN0092E OTP トークンをリセットできません。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0093E 再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0094E OTP トークンが割り当てられていません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0095E VALUE_0 を受け取らない場合は、以下の適切なリンクをクリックして、登録済みの VALUE_2 または VALUE_3 にある他の VALUE_1 を取得してください。

説明: このメッセージは、IMS Server による登録済みモバイル・デバイスへの OTP 送信を開始させるために表示されます。

ユーザーの処置: 適切なリンクをクリックして、他の OTP を受け取ってください。ログ・ファイルで詳細を確認するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0096E *VALUE_0* は、AccessProfile とシステム・ポリシーを IMS Server に同期化できません。(エラー・メッセージ : <error number>)

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

CTGAN0097E 再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルで詳細を確認するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

CTGAN0099E ユーザー名は " " を含むことができません。

説明: 特殊文字の引用符 (") をユーザー名で使用することはできません。

ユーザーの処置: 引用符 (") 文字を使用せずにユーザー名を指定してください。

CTGAN0100E 入力した E メール・アドレスは無効です。

説明: 入力した E メール・アドレスは無効です。

ユーザーの処置: 有効な E メール・アドレスを指定してください。

CTGAN0101E コメントを入力してください。

説明: このフィールドにはコメントを入力する必要があります。

ユーザーの処置: コメントを提供します。

CTGAN0102E ISAM ESSO サーバーがエンタープライズ・ディレクトリーに接続できないため、資格情報を検証できません。

説明: 資格情報を検証できません。IMS Server がエンタープライズ・ディレクトリーに接続できません。

ユーザーの処置: IMS Server とエンタープライズ・ディレクトリーの間の接続を確認してください。

第 3 章 AccessAgent 関連のメッセージ

これらのメッセージは、AccessAgent 関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

このセクションでは、以下のエラー・メッセージに関する情報を提供します。

- 『RFID 関連のメッセージ』
- 『パスワード関連のメッセージ』
- 42 ページの『スマート・カード関連のメッセージ』
- 44 ページの『指紋関連のメッセージ』
- 45 ページの『インストーラー関連のメッセージ』

RFID 関連のメッセージ

これらのメッセージは、RFID 関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

メッセージ AccessAgent は IMS Server に接続できません。しばらくしてから再試行してください。

説明: このメッセージは、いくつかの原因により表示されます。

ユーザーの処置: しばらくしてから再試行するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ ユーザー名と RFID が一致しないか、ISAM ESSO Wallet へのログイン特権がありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ ご使用の RFID カードは IMS Server に登録できません。このカードは他のユーザーに対して登録されている可能性があります。

ます。別のカードを使用してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 別のカードを使用してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ ご使用の RFID カードを IMS Server に登録できませんでした。このカードは他のユーザーに対して登録されている可能性があります。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 別のカードを使用してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

パスワード関連のメッセージ

これらのメッセージは、パスワード関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

メッセージ ISAM ESSO Wallet は、パスワード入力の失敗が多すぎたため、ロックされています。Windows でログオンを選択して、Windows にログオンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ

メッセージ 許可コードまたはパスワードが正しくありません。正しい資格情報を入力して、再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 入力されたパスワードは、Wallet のパスワードと一致しません。再試行する前に、Caps Lock キーを参照してください。必ず大/小文字が正しく入力されるようにしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ パスワード入力の失敗が多すぎたため、Wallet はロックされています。「パスワードのリセット」オプションをクリックしてリセットするか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ コンピューターにログオンするときに問題が発生しました。Wallet にアクセスできないか、Windows パスワードを取得または確認できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ Windows ユーザー・アカウント情報が格納される Wallet のパスワードを入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ パスワードまたはリカバリー・コードの入力の失敗が多すぎます。ヘルプ・デスクから新しい許可コードを取得して、再試行

する必要があります。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ すでに ISAM ESSO Wallet が登録されているため、別の Wallet を登録することはできません。パスワードを使用してログオンしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、「パスワードのリセット」オプションを使用するか、手動で Windows にログオンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ 入力されたユーザー名およびパスワードを検証できません。コンピューターのネットワーク接続を確認してから、ユーザー名とパスワードをもう一度入力してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ ISAM ESSO Wallet のパスワードを変更するには、IMS Server に接続する必要があります。ネットワーク接続の設定を確認して、再試行してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ 入力された古いパスワードは、Wallet 内のパスワードと一致しません。再試行する前に、Caps Lock キーを参照して、必ず大/小文字が正しく入力されるようにしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

スマート・カード関連のメッセージ

これらのメッセージは、スマート・カード関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

メッセージ IMS Server が使用不可のため、このスマート・カードを登録できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ システムはスマート・カードを読み取ることができません。スマート・カードを抜いて、もう一度挿入してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 使用中の IMS Server はスマート・カードでのログオンをサポートしていません。ヘルプ・デスクに連絡してください

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ スマート・カード証明書が認証されません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 複数のスマート・カードが検出されました。スマート・カードを使用して AccessAgent にログオンするには、一度に 1 つのスマート・カードしか読み取ることができません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: カード・リーダーには 1 つのスマート・カードのみをタップしてください。

メッセージ システムはスマート・カードを読み取ることができません。スマート・カードのサポートが正しく構成されていることを確認してください。管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ ログインに失敗しました。スマート・カードのサポートが正しく構成されていることを確認してください。管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ スマート・カードは別の証明書を使用して以前に登録されました。カードを取り外し、再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ AccessAgent はハイブリッド・スマート・カードを読み取る必要があります。カードを取り外し、挿入する前にリーダーにタップしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ このスマート・カードは正しく登録されませんでした。スマート・カードを IMS Server から取り消すために管理者に連絡して、再度カードを登録してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

指紋関連のメッセージ

これらのメッセージは、指紋関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

メッセージ このコンピューターでこの操作を実行するためには、管理者特権が必要です。管理者に連絡してください

説明: このコンピューターでこの操作を実行するための管理者特権がありません。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ ID を確認するためには、指紋が必要です。指紋リーダーを装備したコンピューターを使用して、ソフトウェア・キーをリカバリーしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ 現在、指紋リーダーが存在しません。ソフトウェア・キーにログインするには、指紋認証が必要です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ 指紋をリーダーから読み取るときにエラーが発生しました。プロセス全体で同じ指紋を使用するようにしてください。再試行してください。

説明: このエラーは、指紋登録プロセス中に別の指を使用してスキャンを連続して行った場合に表示されます。

ユーザーの処置: 登録中は同じ指を使用してください。

メッセージ 指紋は、ソフトウェア・キーに保管されている指紋と一致しません。再試行してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 登録済みの指を使用してログオンしてください。

メッセージ ご使用の指紋は、現在のユーザーに対して登録されていません。このマシンをアンロックするには指紋認証が必要です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 登録済みの指を使用してログオンしてください。

メッセージ 正しいユーザー名を入力して、正しい指をタップするようにしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ ユーザー名と指紋が一致しないか、ISAM ESSO Wallet へのログイン特権がありません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ Wallet は、指紋によるログインの失敗が多すぎたため、ロックされています。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ AccessAgent にサインアップするには、指紋を登録する必要があります。しかし AccessAgent は指紋リーダーを検出できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 指紋リーダーを再接続するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 以前に登録された指紋を識別できないため、新しい指紋に置き換えられます。今後は、<finger name> を使用してログオンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 新規に登録した指を使用してログオンしてください。

メッセージ AccessAgent は指紋リーダーを検出できません。リーダーが差し込まれている場合は、リーダーを抜いてからもう一度差し込んでください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: リーダーを抜いてからもう一度差し込んでください。

メッセージ 登録可能な数の制限 <number of fingers>
本の指紋がすでに登録されています。い
ずれかを削除しますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、以前にスキャ
ンした指紋を削除してください。

メッセージ AccessAgent は指紋を削除できませんで
した。再試行してください。この問題が解
決しない場合は、管理者に連絡してくださ
い。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ すでに登録されている指紋のみ削除できま
す。

インストーラー関連のメッセージ

これらのメッセージは、インストーラー関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

メッセージ このコンピューターでこの操作を実行する
ためには、管理者特権が必要です。管理
者に連絡してください。

説明: このコンピューターでこの操作を実行するための
管理者特権がありません。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ 旧 GINA dll の setStringValue が失敗し
ました

説明: GINA の更新中に、レジストリーに書き込むこと
ができません。

ユーザーの処置: 管理者特権を使用して、このコンピ
ューターに AccessAgent をインストールしているかどうか
確認してください。

メッセージ GinaDLL の setStringValue が失敗しまし
た

説明: GINA の更新中に、AccessAgent はレジストリー
への書き込みに失敗しました。

ユーザーの処置: インストーラーによるレジストリーへ
の書き込みが、他のソフトウェアによって妨げられてい
ないかどうか確認してください。AccessAgent をインス
トールするための管理者特権があるかどうか確認してく
ださい。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを参照してください。

メッセージ 指紋は、サーバーに保管されているどの指
紋とも一致しません。「再試行」をクリ
ックして、別のユーザー名および指紋を使
用するか、新たに指紋を登録してくださ
い。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「再試行」をクリックして、別のユー
ザー名および指紋を使用するか、新たに指紋を登録して
ください。

メッセージ PrevGINA の SetStringValue が失敗しま
した

説明: GINA の更新中に、レジストリーに書き込むこと
ができません。

ユーザーの処置: 管理者特権を使用して、このコンピ
ューターに AccessAgent をインストールしているかどうか
確認してください。

メッセージ engina.dll の SetStringValue が失敗しま
した

説明: GINA の更新中に、AccessAgent はレジストリー
に書き込むことができません。

ユーザーの処置: 管理者特権を使用して、このコンピ
ューターに AccessAgent をインストールしているかどうか
確認してください。

メッセージ 必要なドライバー [Smart card reader]
のインストールに失敗したため、セットア
ップは終了中です。失敗した操作: プリイ
ンストール。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: スマート・カード・リーダー用のドラ
イバーをインストールしてください。セットアップを再
実行してください。

メッセージ

メッセージ システムは変更されていません。別の機会にインストールを完了させるには、セットアップを再実行してください。

説明: このメッセージは、ご使用のコンピューター上のファイルがインストールによって変更されていないことを示しています。インストールは失敗しました。

ユーザーの処置: 後でセットアップを再実行してください。

メッセージ 必要なドライバー [Smart card reader] のインストールに失敗したため、セットアップは終了中です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 現在のインストールを終了してください。スマート・カード・リーダー用のドライバーをインストールしてください。セットアップを再実行してください。

メッセージ この OS は今回のリリースでは現在サポートされていません。Windows 2000 (Service Pack 3 適用) または Windows XP、そして Internet Explorer 6.0 またはそれ以上が必要です。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このマシンに AccessAgent をインストールしないでください。

メッセージ Windows XP (Service Pack 1 またはそれ以上を適用) がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開いてください。

メッセージ Internet Explorer 5.0 またはそれ以上がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開いてください。

メッセージ Windows XP (Service Pack 1 またはそれ以上を適用) がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開いてください。

メッセージ Internet Explorer 5.0 またはそれ以上がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開いてください。

メッセージ Windows 2000 (Service Pack 3 またはそれ以上を適用) がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開いてください。

メッセージ Internet Explorer 5.0 またはそれ以上がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開いてください。

メッセージ ソフトウェア・キーまたは黒い USB キーを使用する場合は、「はい」をクリックして続行します。青または緑の USB キーを使用する場合は、現在ご使用のマシンにはインストールされていない Service Pack 3 が必要です。このパックをダウンロードするには、url> にアクセスしてください。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開いてください。

メッセージ Windows 2000 (Service Pack 3 またはそれ以上を適用) がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開いてください。

メッセージ Internet Explorer 5.0 またはそれ以上がコンピューターにインストールされている必要があるため、セットアップを進行できません。マシンをアップグレードした後で、セットアップを再度開始します。必要なファイルは、<url> からダウンロードできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開きますか?

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザで URL を開いてください。

メッセージ インストーラーは自分自身で IMS Server を検出できません。システム管理者からサーバーのロケーションが提供されているはずです。サーバーのロケーションを入力し、「OK」をクリックしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 有効な IMS Server 名を入力してください。必要に応じて、管理者に連絡してください。

メッセージ

メッセージ 必要な依存関係「Windows High Encryption パック」がコンピューター上にないため、セットアップを進行できません。この依存関係のインストール後に再度セットアップを実行してください。この依存関係は、<url> からインストールできます。依存関係のインストール後にセットアップを再度実行する必要があります。セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開きますか？

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、セットアップを終了する前に、ブラウザーで URL を開いてください。

メッセージ インストーラーは指定されたロケーションで IMS Server を検出できませんでした。もう一度ロケーションを確認するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 指定した IMS Server ロケーションを確認するか、ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ セキュリティー設定を適用中にエラーが発生しました。<user or group> は有効なユーザーまたはグループではありません。パッケージに問題があるか、ネットワーク上のドメイン・コントローラーへの接続中に問題が発生した可能性があります。ネットワーク接続を確認し「再試行」をクリックするか、インストールを終了するには「キャンセル」をクリックしてください。ユーザーの SID が見つかりません。システム・エラー <error number>。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ このコンピューターの Windows Scripting Host がインストールされていないか破損しているため、AccessAgent をインストールできません。管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ これは x86 バージョンの AccesAgent です。代わりに x64 バージョンの AccessAgent をインストールしてください。

説明: この AccessAgent のバージョンは、ご使用のオペレーティング・システムに適していません。

ユーザーの処置: x64 バージョンの AccessAgent インストーラーを使用してください。

メッセージ このコンピューターの Windows Scripting Host は使用不可に設定されているため、AccessAgent をインストールできません。管理者に連絡してください。

説明: AccessAgent をインストールするには、Windows Scripting Host が必要です。

ユーザーの処置: このコンピューターの Windows Scripting Host を使用可能に設定してください。

第 4 章 Observer 関連のメッセージ

これらのメッセージは、Observer 関連の問題が原因で、IBM Security Access Manager for Enterprise Single Sign-On によって生成されます。

メッセージ AccessAgent のコンポーネント [Sync.exe] は危害を受けた可能性があります。管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ AccessAgent は現在 Wallet パスワードを検証できません。しばらくしてから再試行してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: しばらくしてから再試行してください。

メッセージ 入力したパスワードが Wallet パスワードと一致しません。再試行する前に、Caps Lock キーを参照して、必ず大/小文字が正しく入力されるようにしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ AccessAgent は、このマシンでプロビジョン解除を実行できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ AccessAgent は <application name> に対して <user name> をプロビジョン解除できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ AccessAgent は IMS Server で <user name> をプロビジョン解除できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ AccessAgent は <application name> に対して <user name> をプロビジョン解除できません。このユーザーがアプリケーションに存在しないためです。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ユーザー名が正しく入力されているかどうか確認してください。

メッセージ AccessAgent は <application name> に対して <user name> をプロビジョン解除できません。プロビジョン解除がこのサーバーでサポートされていないためです。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ユーザーをプロビジョン解除する方法については、アプリケーション管理者に確認してください。

メッセージ AccessAgent は、このサーバー上の <application name> に対して <user name> をプロビジョン解除できません。IMS Server がアカウントのプロビジョン解除に必要なアクセス権限を保有していないためです。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡し、IMS Server にアクセスするための適切な特権を依頼してください。

メッセージ ユーザー <user name> は IMS Server でプロビジョン解除済みです。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ AccessAgent は OTP ActiveCode を生成できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

メッセージ

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 入力された新規パスワードが一致しません。両方のフィールドに同じパスワードを入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 両方のパスワード・フィールドに同じパスワードを入力してください。

メッセージ **AccessAgent** は <user name> をプロビジョンできません。このユーザーに対してパスワードが作成されていないためです。このユーザーを再度プロビジョンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このユーザーを再度プロビジョンしてください。

メッセージ **AccessAgent** は、このマシンでプロビジョニングを実行できません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** は **IMS Server** で <user name> をプロビジョンできません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** は <application name> に対して <user name> をプロビジョンできません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** は <application name> に対して <user name> をプロビジョンできません。このユーザーを再度プロビジョンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このユーザーを再度プロビジョンしてください。

メッセージ ユーザー名 <user name> は **IMS Server** にすでに存在します。同じユーザーを 2 度プロビジョンすることはできません。他のユーザー名を使用してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 他のユーザー名を使用してください。

メッセージ ユーザー名 <user name> は <application name> に対してすでに存在します。アプリケーションに対して同じユーザーを 2 度プロビジョンすることはできません。他のユーザー名を使用してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 他のユーザー名を使用してください。

メッセージ **AccessAgent** は <user name> をプロビジョンできません。このユーザー ID が <application name> のパスワード・ポリシー要件に一致しないためです。アプリケーション・パスワード・ポリシーが一貫していることを確認し、再度ユーザーをプロビジョンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このユーザーを再度プロビジョンしてください。

メッセージ **AccessAgent** は <user name> をプロビジョンできません。このユーザー・パスワードが <application name> のパスワード・ポリシー要件に一致しないためです。アプリケーション・パスワード・ポリシーが一貫していることを確認し、再度ユーザーをプロビジョンしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このユーザーを再度プロビジョンしてください。

メッセージ **AccessAgent** は <application name> に対して <user name> をプロビジョンできません。**Active Directory Server** のユーザー属性の値が無効なためです。管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ AccessAgent は <application name> に対して <user name> をプロビジョンできません。Active Directory Server のユーザー属性設定が非互換であるためです。管理者に連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ AccessAgent は <application name> に対して <user name> をプロビジョンできません。プロビジョニングがこのサーバーでサポートされていないためです。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このユーザーを再度プロビジョンしてください。

メッセージ AccessAgent は、このサーバー上の <application name> に対して <user name> をプロビジョンできません。IMS Server がアカウントのプロビジョンに必要なアクセス権限を保有していないためです。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 管理者に連絡してください。

メッセージ <application name> へのログオン時に、<user name> に対して入力したパスワードが保管されて入力されるようになりますか？

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、<application name> へのログオン時に <user name> のパスワードを保管してください。

メッセージ <application name> へのログオン時に、入力したパスワードが保管されて入力されるようになりますか？

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、<user name> のパスワードを保管してください。

メッセージ このアプリケーションへのログオン時に、<user name> に対して入力したパスワードが保管されて入力されるようになりますか？

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、<user name> のパスワードを保管してください。

メッセージ <application name> のユーザー名 <user name> に対して異なるパスワードが Wallet に保管されています。今入力したパスワードと置換しますか？

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、Wallet の古いパスワードを新規パスワードで置換してください。

メッセージ このアプリケーションのユーザー名 <user name> に対して異なるパスワードが Wallet に保管されています。今入力したパスワードと置換しますか？

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 「はい」をクリックし、Wallet の古いパスワードを新規パスワードで置換してください。

メッセージ パスワードが Wallet パスワードと一致しません。再試行する前に、Caps Lock キーを参照して、必ず大/小文字が正しく入力されるようにしてください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージを参照してください。

メッセージ パスワード入力の失敗が多すぎたため、Wallet はロックされています。ログアウトしてログオンし、再試行してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ログオフしてログオンし、再試行してください。

メッセージ AccessAgent は現在 Wallet パスワードを検証できません。しばらくしてから再試行してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ログオフしてログオンし、再試行してください。

メッセージ AccessAgent はユーザーを追加できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

メッセージ

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** はアプリケーション設定を表示できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** はユーザー・アカウントを削除できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** はパスワードを編集できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** はパスワード入力オプションを変更できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ パスワードの表示に必要なアクセス権限が十分ではありません。ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ このフォルダーにファイルを保存するために必要なアクセス権限を保有していないため、アプリケーション・パスワードをエクスポートできません。別のフォルダーを選択してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ エクスポート先のドライブに、エクスポート・ファイルを保管する十分なスペースがないため、アプリケーション・パスワードをエクスポートできません。ディスク・スペースを空けて、再試行してください。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 予期しないエラーが発生したため、アプリケーション・パスワードをエクスポートできません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 予期しないエラーが発生したため、アプリケーション・パスワードをエクスポートできません (エラー・コードは *<error number>* です)。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** は **Wallet** 表示を更新できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ **AccessAgent** はパスワード入力オプションを変更できません。問題が解決しない場合は、ヘルプ・デスクに連絡してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: ヘルプ・デスクに連絡してください。

メッセージ 許可された限度に達しているため、これ以上 *<application name>* のユーザー・アカウントを追加できません。アカウントを追加するには、既存アカウントをいくつか削除します。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 既存アカウントをいくつか削除します。

メッセージ ファイル名が不完全です。完全なパスおよびファイル名を入力してください。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 完全なファイル・パスおよびファイル名を入力してください。

メッセージ ファイル名が無効であるため、アプリケーション・パスワードをエクスポートできません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 指定したパスまたはファイル名が有効かどうか確認してください。ファイルまたはフォルダーの作成権限、またはそれらへの書き込み権限があるかどうか確認してください。ファイルに読み取り専用のマークが付いているかどうか確認してください。

メッセージ Wallet のパスワードを検証できません。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: パスワードが正しいことを確認してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
2Z4A/101
11400 Burnet Road
Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォーム

フォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は英国 Office of Government Commerce の一部である the Central Computer and Telecommunications Agency の登録商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は英国 Office of Government Commerce の登録商標および共同体登録商標であって、米国特許商標庁にて登録されています。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。



Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Linear Tape-Open、LTO、LTO ロゴ、Ultrium、および Ultrium ロゴは、HP、IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。



Printed in Japan

GA88-4640-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21